

びわこ銀行の環境保全活動



びわぎん緑と水の基金助成事業（高畑区自治会：ご神木ケヤキの活性化）

びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の保全と改善に努め、『環境こだわり銀行』として地域社会と共生を目指します。

現在、地球規模で21世紀型の持続可能な循環型社会への変換が求められている中において、琵琶湖の水と周りを取り囲む山々の恵みを受けた滋賀県は、環境先進県にふさわしい自然環境保全意識を県民全体で育んできました。

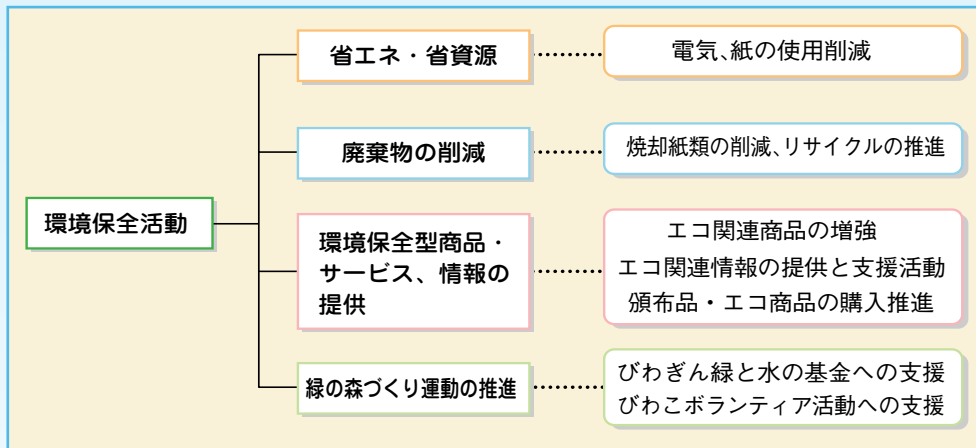
当行におきましても、昭和50年から毎年行っております苗木の寄贈が既に10万本を超えるなど、県内各地で地道な環境保全活動を続けています。

こうした運動をさらに発展させ、環境への負荷を抑えた事業活動とともに、環境関連商品の充実・推進など金融機関としての事業活動を通じて間接的な環境保全活動にも貢献し、地域社会における企業市民としての役割を果たしたいと考えています。

「環境こだわり銀行」宣言

びわこ銀行の環境保全活動

当行は、平成13年1月に、国際環境管理規格「ISO14001」の認証を第二地銀で初めて取得し、環境保全活動に取り組んでいます。具体的には、湖国の美しい自然と環境保全のため、「美しい自然を未来に残したい」をテーマに、4つの柱を中心とした活動をしています。



●ISO14001の取り組み

平成12年7月には「環境方針」を制定・公表し、環境マネジメントシステムを機能させるために、積極的に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム登録証 ▶



びわこ銀行環境方針

基本理念

びわこ銀行は、事業活動を通じて自然環境の維持と改善に努め、環境こだわり銀行として地域社会との共生を目指します。

環境方針

1. びわこ銀行は、環境負荷の軽減を積極的に推進するエコ・リーダースバンクとして、環境保全に資する商品やサービスの提供などの事業を通じ、環境保全活動を支援し、環境マネジメントシステムの継続的な改善および汚染の予防に努めます。
2. 廃棄物の削減、省エネルギーとともに、緑の森づくりへの協力に努め、環境にやさしい企業活動を積極的に展開します。
3. 環境保全に関する法規則およびその他要求事項を遵守します。
4. 環境目標・目的を設定し、その実現を図るとともに、定期的に見直しします。
5. 環境方針は、文書化し、実行し、維持するとともに、全行員に周知徹底します。

～この環境方針は、一般に公表します。～

目的および目標

当行は、「ISO14001」の運用にあたり、「びわこ銀行環境方針」に基づいて、目的と目標を具体的に定めています。その達成に向けてさまざまな取り組みを続けることにより、ひいては資源循環型社会への対応に努めています。

【目的・目標とその成果】

目的	目標	単位	平成12年度	平成13年度		
			実績	目標	実績	達成度
省エネ	電気の使用量削減	使用量/万KWH	244	220	193	○
省資源	ガソリン使用量削減	使用量/ℓ	45,153	45,671	44,090	○
	紙の使用量削減	使用量/万枚	363	328	312	○
	廃棄物(焼却紙)の削減	排出量/t	33.0	22.0	12.7	○
	紙のリサイクル率向上	リサイクル率/%	13.4	25.0	61.8	○

上記の項目以外に、「環境保全型商品・サービス、情報の提供」「緑の森づくり運動の推進」にも、関連部門が中心となって継続的な取り組みを進めています。

環境教育・訓練

- 「ISO14001」を運用していくためには、役職員一人ひとりの環境に対する意識改革が不可欠です。当行では、啓発活動として環境セミナーを定期的開催し、地球環境保全の重要性、環境マネジメントシステムの仕組み等について学習しています。また、毎年内部環境監査員（内部環境監査員養成コース：2日間コース）を数名養成しています。役職員に対しては、「環境目標、かんたんルール、自覚の教育」等を記載した環境ISOハンドブックの携帯を励行し、環境意識の昂揚に努めています。
- 当行では、「重油貯蔵タンクの油洩れ（給油時・貯蔵時）」、「ハロンガスの洩れ」、「社員食堂の油洩れ」を緊急事態として特定し、定期的に手順のテストと緊急事態訓練を実施して、必要に応じた見直しを行っています。

【教育用テキスト・環境ISOハンドブック】



緊急事態訓練 【油洩れの対応訓練】



「環境マネジメントシステム」の運用

省エネ・省資源

<電気使用量の削減>

- ◎照明の電気はこまめに切って節電に努めています。
- ◎空調機の運転時間を限定しています。
- 本店/事務センター……8:00~17:00

◎夏季の省エネルギー

「エコ・サマーキャンペーン」への取り組みを行いました。

- 夏季の電力消費ピーク時にノーネクタイ運動を実施しました。この結果、本店における8月の消費電力は、前年比1万KWH(10.4%)削減することができました。

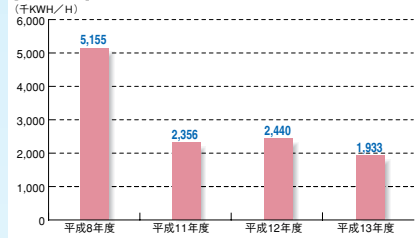


- ◎平成13年度の電力使用量は、平成8年度比322万KWHの削減となっています。これは、一般家庭、約920軒分の年間消費電力に相当します。

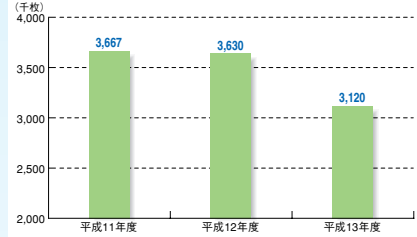
<紙の使用量の削減>

- ◎コピーの取り方を工夫しています。
- 両面コピー、裏面コピーを励行しています。
- ミスコピーの防止に努めています。
- ◎コピー用紙はすべて再生紙を使用しています。

【電力使用量】



【紙の使用削減推移 (仕入れベース)】

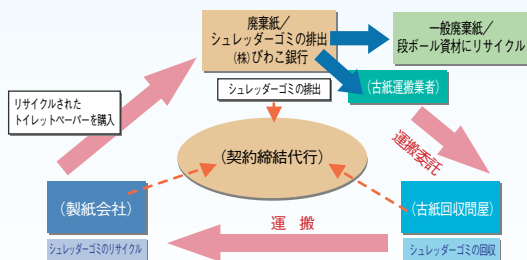


廃棄物（紙）の削減

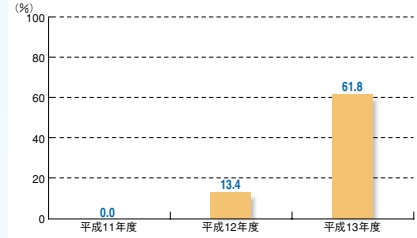
<廃棄物（紙）のリサイクル推進>

- ◎使用済みとなった紙類のリサイクル化を推進しています。
- 機密書類関係は、製紙会社にて溶解し、段ボールの素材にリサイクルしています。
- シュレッダーゴミはトイレトペーパーにリサイクルし、当行において使用しています。
- ◎平成14年度はリサイクル率70%を目指しています。

一般廃棄紙/シュレッダーゴミリサイクルシステム



【廃棄物(紙)リサイクル率】



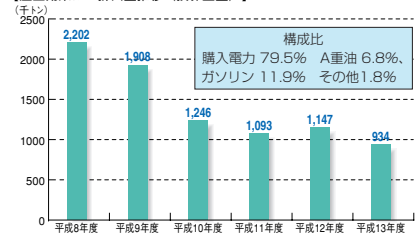
シュレッダーゴミをトイレトペーパーにリサイクル

地球温暖化防止への取り組み

冷暖房温度のきめ細かな設定(暖房23度、冷房28度)、空調機の運転時間の限定、アイドリング防止の啓発活動による排気ガスの軽減などにより、温室効果ガス削減に努めています。



【温室効果ガス排出量推移(換算重量)】



環境関連商品

<環境関連融資>

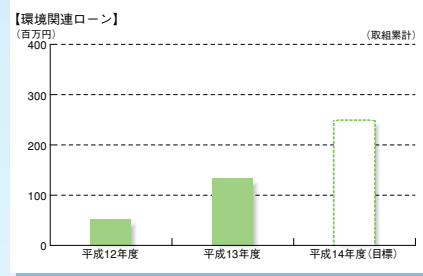
当行は、環境関連融資の取り組みを通じて環境保全活動を支援しています。

◎個人のお客さま

- エコライフローン
 - ◆新築住宅型…太陽光発電設備付き住宅等を新築または購入される方
 - ◆住宅改良型…ご自宅に太陽光発電設備または下水道を設置される方
 - ◆オート型…低公害車[®]を自家用車として購入される方

◎法人、事業主のお客さま

- ISOサポートローン…ISO認証取得（ISO9000または14000シリーズ）を目指す法人先および事業主の方
- 環境サポートローン…環境保全対策を計画している法人先および事業主の方



●エコファンドの取り扱い

当行は、現在、2種類のエコファンドを取り扱っており、環境保全志向型の企業を対象銘柄とした投資信託の販売により、間接的に環境保全活動に貢献しています。取扱高は、年々増加傾向にあります。

環境に配慮した頒布品の取り扱い

窓口でご使用いただく伝票類やお札を巻く封紙をはじめ、紙幣袋、通帳ケース、お客さまへの頒布品（ノベルティグッズ）についても、ケナフ（二酸化炭素吸収力の強い一年草）使用のティッシュペーパー、ダイオキシン対応のエコラップなど環境に配慮した商品に切り替えています。これらにより平成13年度の環境配慮型頒布品の占める割合は、97.2%となりましたが、今後も環境配慮型頒布品の使用を継続します。



環境保全型商品・サービス、情報の提供

環境情報冊子の発行



●行員の声 (環境ビジネスメッセのスタッフ)

昨年11月に、環境ビジネスメッセにスタッフとして参加し、大勢の人が環境問題に深く関心を持っておられることを改めて感じました。私も小さなことから始めようと、滋賀県が発行された『地球人』のすすめ[®]をもとに、環境問題の勉強に取り組んでいます。

大津環境保全協定締結・びわ湖ビジネスメッセに出展

大津環境保全協定締結

今回、第3次目の協定では、サービス業12社が新たに調印しました。

びわ湖国際環境ビジネスメッセに出展

当行は、米原会場に出展。当行の環境への取り組みを紹介するとともに、「環境会計体感コーナー」の実演や環境クイズによる抽選を行い、多くの来場者でにぎわいました。



平成13年11月14日～17日
環境ビジネスメッセ展示会場



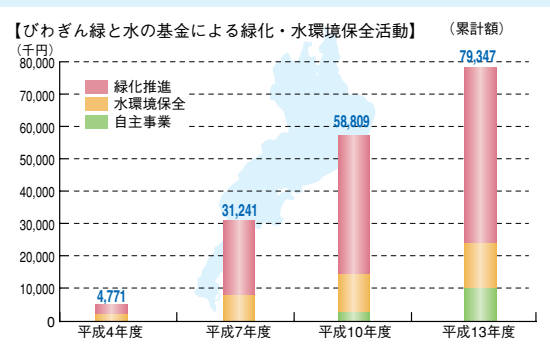
平成13年10月25日
大津市役所で調印式

“美しい自然を未来に残したい”

緑の森づくり運動の推進

緑化推進・水環境保全活動への助成

平成4年10月、創立50周年を記念して財団法人「びわぎん緑と水の基金」を設立、県内で緑化推進や水環境保全活動を行っている諸団体に対して助成を実施しています。



ヨシ刈り活動への助成



苗木贈呈式

苗木の寄贈

昭和50年、栗東市で第26回全国植樹祭が開催されました。これを記念し、びわこ銀行では毎年春と秋に滋賀県緑化推進会を通じ、サクラやモミジなどの苗木を学校や神社・仏閣に寄贈しています。その数は、平成14年3月現在で10万9千本にのぼっています。

社会貢献活動

ボランティア活動

役職員の社会貢献を支援する目的として、平成7年に「ボランティア活動支援委員会」を設置し、ボランティア休暇制度をはじめとした支援体制を整えるとともに、地域で開催される様々なイベント・行事への参加、社会福祉施設での体験ボランティアや清掃活動など、地域社会とのふれあいを大切にしています。



「びわこ水源の森林づくり」ボランティア活動



「びわ湖の日」一斉清掃活動

スポーツ貢献

平成5年から始まった「手島杯争奪びわ銀学童野球」のほか、平成6年には「びわこ銀行杯少年サッカー選抜大会」、平成7年には「びわこカップ滋賀県中学生卓球大会」をそれぞれ創設し、以来、3つのスポーツ大会に協賛しています。

当行は、スポーツ大会への協賛を通じて、湖国スポーツのレベルアップと子どもたちの健全な成長を願っています。



びわこ銀行杯少年サッカー選抜大会



びわこカップ滋賀県中学生卓球大会



手島杯争奪びわ銀学童野球大会